

SDGs未来都市

Kumamoto city

熊本県 熊本市

11 住み続けられる
まちづくりを



地域力×防災・減災のまちづくり×SDGs

安心安全な「上質な生活都市」へ



再認識した 地域力の重要性
ライフライン強靱化の必要性

平常時



健康増進施設
(コミュニティ拠点)

地域エネルギー会社



自立分散型のエネルギーシステムにより
年間1.6億円の電力料金が削減

⇒家庭や中小企業への省エネ支援



大規模災害時



充電拠点からEVを避難所等へ

自営線



EV充電拠点



避難所や病院など

SDGs未来都市

Nichinan-town

鳥取県 日南町



昭和34年4月に合併して日南町が発足。島根県・広島県・岡山県に隣接し、面積の9割を森林が占め、高齢化率は50%を超える。

過疎、少子高齢化が進行する「日本の30年後の姿」の町として多くの学術機関におけるモデル地域となっています。

農業・林業を中心とした第一次産業が主役とし、緩やかな人口減少を実現させる町民総活躍の「創造的過疎」のまちづくりへ挑戦しています。



しごとをつくり、安心して働けるまちづくり

- ・「木のおもちゃ」の製造、販売
- ・木育を基軸とした「コワーキングスペース」整備



日南町への移住、定住の促進

- ・「林業従事者の確保」と「森林意識の継承」
- ・全国に発信する「生涯森林教育プログラム」の構築



～SDGsチャレンジにちなん2030～

「創造的過疎のまち」というコンセプトのもと、「持続可能なまち」を目指し、自主財源、地域資源の乏しい本町にあっては、企業、団体等のステークホルダーとの連携が不可欠。

17 パートナリーシップで
目標を達成しよう



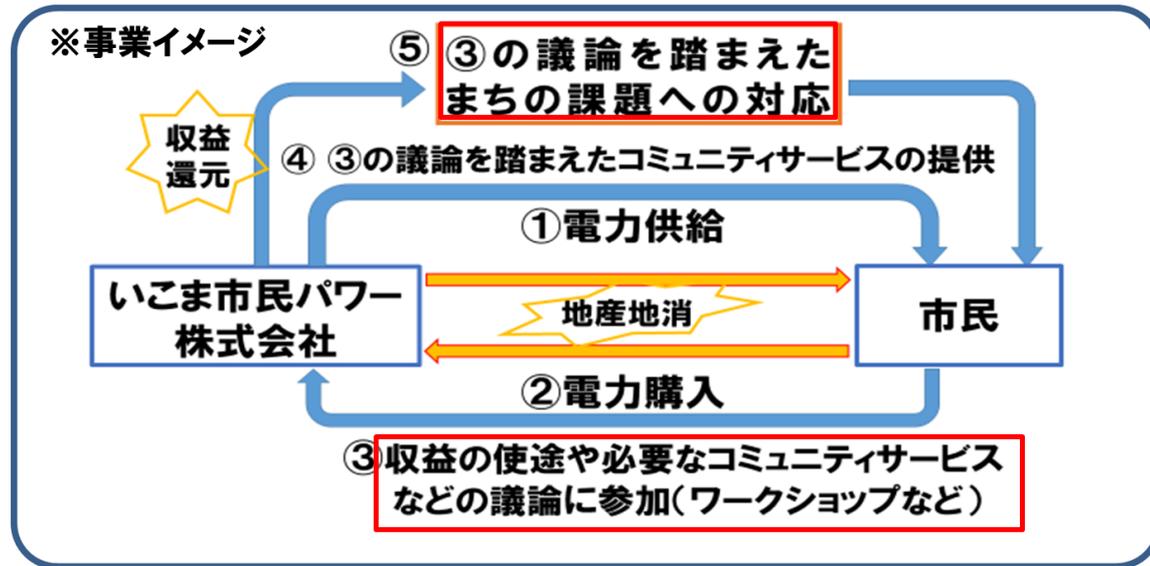
SDGs未来都市
環境モデル都市

Ikoma City

奈良県 生駒市

環境モデル都市としてのあゆみ

自治体新電力「いこま市民パワー」の設立



ECO-MODEL CITY
IKOMA

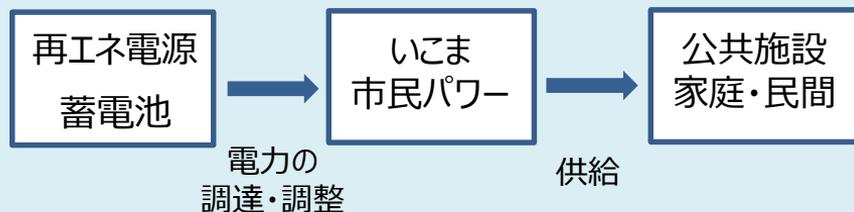




SDGs未来都市としてのこれから

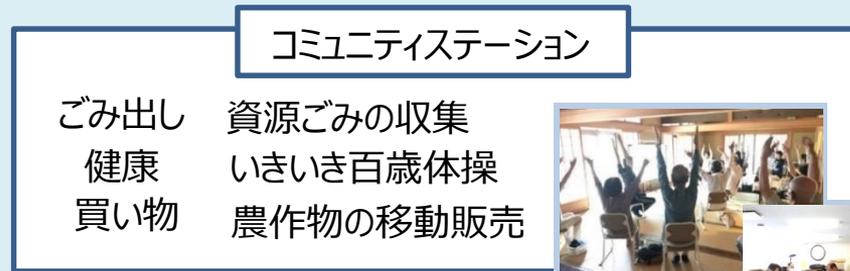
『地産地消エネルギーモデルの検証』

いこま市民パワーを核とした、地産電源の集約、エネルギーマネジメントの実現



『資源循環コミュニティステーションの実証』

複合型コミュニティスペース「令和のよろづ屋」を100箇所設置



ゼロカーボンシティ宣言

SDGs未来都市

Shiga Prefecture

滋賀県



琵琶湖・山

水のつながり



人のつながり



人 自分らしい未来を
描ける生き方

経済 未来を拓く
新たな価値を生み出す産業

社会 未来を支える
多様な社会基盤

環境 未来につなげる
豊かな自然の恵み

滋賀県基本構想
「変わる滋賀 続く幸せ」

滋賀×SDGs交流会



持続可能な社会づくりに向け、社会課題に取り組む参加者同士が交流する場を設け、新たな実践の創出や実践者のパートナーシップの拡大を推進

滋賀SDGs×イノベーションハブ



滋賀の社会的課題をビジネスモデルで解決する「滋賀SDGs×イノベーションハブ」を産官金の協働で運営し、21世紀にふさわしい新たなビジネスモデルの構築を支援

経済・社会・環境について、多角的な視点を持つ『担い手』の育成

SDGs未来都市

Sabae city

福井県 鯖江市

女性が活躍する土壌

- ・福井県の女性の就業率は、全国1位(52.6%)。鯖江市は県内1位(55.1%)。
- ・福井県の生産年齢人口における有業率は、全国1位(80.3%)。
育児中の女性の有業率は全国2位(80.6%)。
- ・福井県の共働き率は、全国1位(58.6%)。鯖江市は県内5位(62.5%)。
- ・福井県の三世帯同居率は、全国2位(14.9%)。鯖江市は県内9位(17.6%)。

三側面(経済面・社会面・環境面)の課題

- ・経済面：地場産業の縮小、雇用のミスマッチ、女性の再就労問題
- ・社会面：若者の県外流出、女性参画の障害
- ・環境面：ごみ排出量の増加、空き家の増加



女性活躍を中心とした

三側面(経済面・社会面・環境面)をつなぐ統合的取組を推進



活動拠点整備
様々なステークホルダーの活動や情報
交換の場

女性活躍の世界発信
国内外に本市の取組みをロールモデルとして発信していくことで横展開を図る。

好循環

女性活躍に向けた意識啓発

インポスター症候群等の研究・対策、若者のまちづくり参加意識の醸成などにより、次世代・女性のエンパワメントを図る。

SDGs Goal 5 オレンジめがねキャンペーン **参加企業募集中!!**

ジェンダー平等と女性のエンパワメントを実現しよう
3月8日は国際女性デー
国際女性デーとは、1975年に国連が制定した女性への差別撤廃と女性の地位向上を呼びかける日です
【期間】2020年3月1日～31日

SDGs Goal 5のオレンジカラーで世界の女性を応援しよう!

SDGs未来都市

Komatsu city, Ishikawa

石川県 小松市

SDGs未来都市

Komatsu city, Ishikawa 石川県 小松市



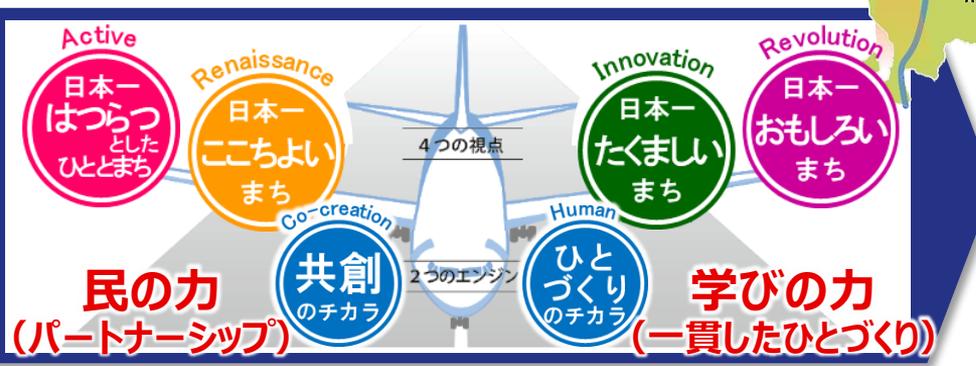
ふるさとこまつを未来へつなぐ条例
～PASS THE BATON～

小松市都市デザイン

- ◆ 北陸の際立った「国際都市」へ
- ◆ 時代変化を見通し、変化を先取りしたまちの将来イメージ「10年ビジョン」

10年ビジョン (2011年～)

NEXT10年ビジョン (2015年～)



10年、20年先への
20年ビジョンを
制作

10年ビジョン
アクションプラン
Action plan
～ Flag management ～
1stステージAP

10年ビジョン
2nd Stage
Action Plan
Flag management
2015.1 小松市
2ndステージアクションプラン

こまつ創生総合戦略
こまつ創生総合戦略
2015～2019年度
Flag management
こまつ創生総合戦略

- ◆ バックキャストिंग
ビジョンから逆算方式で各種行動計画を策定
- ◆ フラッグマネジメント KPI
旗管理方式で目標値を掲げPDCAで政策展開



人口・社会の変革期での
産業の持続的成長に向けて



- 産業イノベーション
- 里山ビジネス展開
- 誰もが活躍できる就労環境

- ◆ 力強い民の力で世界共通の課題を克服
- ◆ 学びの力は新しい未来づくりのエンジンに



「木場潟」をシンボルに
環境共生を推進



- 里山・木場潟再生
- 環境・美化活動、フローラル

はつらつとした健康づくりと
やさしさが幸せへの道しるべに



- 予防先進の健康福祉
- 多様性ある地域社会づくり

◆ 学びの力・民の力をさらに高める



企業・大学など多様な連携



市民大学



子どもたちへの
普及展開 など

SDGs未来都市

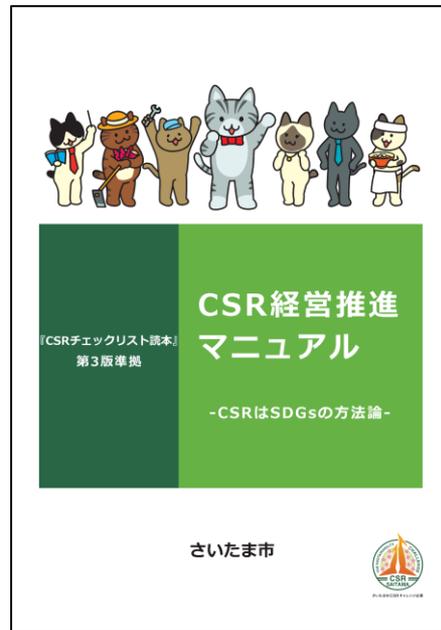
Saitama City, Saitama

埼玉県 さいたま市

取組①：さいたま市CSRチャレンジ企業認証制度（平成24年度～）



これまで市内中小企業111社を
「さいたま市CSRチャレンジ企業」として認証



チェック項目 52 件はずCSR	環境問題や社会問題・地域に配慮したサービスや資材の調達を行っている
関連する課題	ISO26000 人権、環境、公正な事業慣行
	SDGs 8 経済的成長、10 公平な社会、12 持続可能な消費と生産

【この項目の（経営課題）の趣旨】
 CSR認証は競争優位性への対応のようなリスクマネジメントに資するものもあれば、投資先を利用するなどの社会貢献に資するものもありますが、両方のタイプのCSR活動を推進することが重要です。
 なお、この項目はSDGsの17ゴールのうち、1699ターゲットのうち、16、18、2030年までに、若者や障害者を社会での可能性及び女性の、完全かつ実質的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。110.2 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的脆弱性その他の状況に関わりなく、全ての人の能力を強化及び社会的、精神的及び身体的な発展を促進する。112.1 開発途上国の開発状況及び能力を強固しつつ、持続可能な開発と生態系に資する10年計画目標（SDG17）を達成し、先進国主導の下、全ての国と協力を進める。112.1に関連します。

【この項目の（経営課題）を充実するための条件】
 自社が環境問題や社会問題、地域に配慮した調達を行うことは、サプライチェーンマネジメントの強化と自社のブランドに貢献します。そのため、次の1つ以上に取組むことが求められます。
 (1) 製品やサービスの生産について、紛争鉱物を利用しない。国内企業からの調達を優先する。作業の一部を環境性能に劣化するなど、環境や社会に配慮した調達を行っていること。
 (2) 廃棄物や廃棄サービスについて、リサイクル品の採用や環境性能などに劣るものを発注するなど、環境や社会に配慮した調達を行っていること。

【この項目の（経営課題）への主な対応策】
 CSR認証は実際に社会と社会が利益を共有できる取り組みです。そのため、小さなことでも取組むことが重要です。特に製造業などの組織セクターでは、企業からの業務委託や商品提供の調達に期待を寄せています。これらを取り組む企業は、地域の社会福祉協議会なども訪ねて、CSR調達の可能性について具体的に検討してもらいたいでしょう。

-63-

CSR活動とSDGsとの関係性をわかりやすく
示す「CSR経営推進マニュアル」の展開

取組②：スマートホーム・コミュニティ

2011.3.11

東日本大震災

計画停電
ガソリン不足

市民生活の維持、市内企業の経済活動が困難に！

2011.9.30 地域活性化総合特区の申請

2011.12.22 地域活性化総合特区に指定

次世代自動車・スマートエネルギー特区

重点プロジェクト

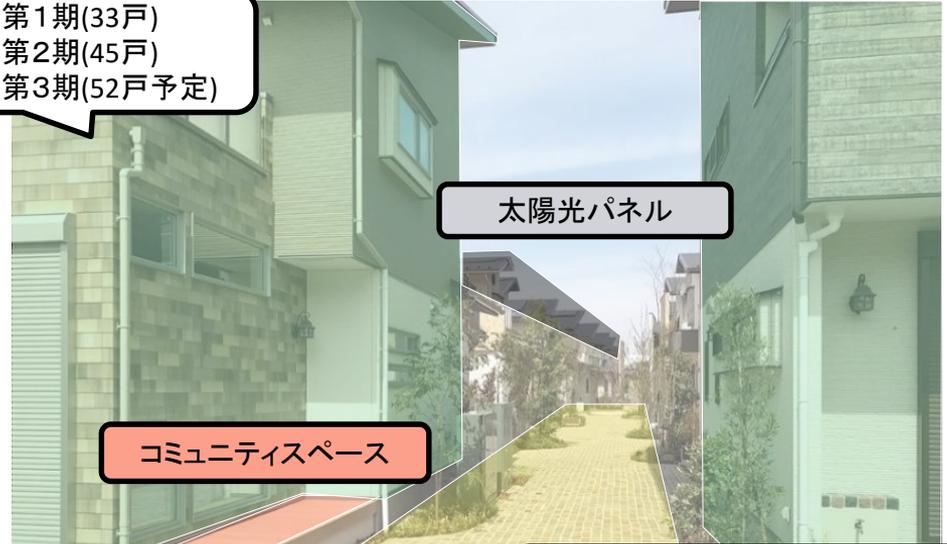
ハイパーエネルギーステーションの普及

スマートホーム・コミュニティの普及

地元ハウスメーカーとの連携

低炭素型パーソナルモビリティの普及

第1期(33戸)
第2期(45戸)
第3期(52戸予定)



高気密高断熱仕様 (HEAT20G2さいたま市地区基準)



コモンスペース(民地)を活用した
電線類の地中化



SDGs未来都市
環境未来都市

Rikuzentakata City, Iwate

岩手県 陸前高田市

経済

- 高付加価値農林水産業
- 障がい者の就労機会・企業受入環境・接触機会
- 研究開発・創業支援拠点

「ノーマライゼーションという言葉のいらぬまちづくり」

誰一人取り残さない社会

社会

- ユニバーサルデザイン整備
- ダイバーシティ・多文化共生
- 子育て支援(貧困・就学)
- パラ・アスリート等交流促進

環境

- 名勝高田松原再生・継承
- 再生可能エネルギー推進
- 持続可能な林業・漁業



地域住民
都市住民

NPO
各種団体

一般企業
ベンチャー企業

他自治体

大学
教育機関

金融機関

■ 高付加価値農林水産業の実現（経済）

【ピーカンナッツの特徴】
 ・高い栄養価→機能性食品市場
 ・加工しやすい→多様な商品展開




陸前高田・
国内の市場形成、
食文化発信を！

東京大学や米国先端農場との提携
による技術革新



ゲノム育種による環境に適した苗木の開発



センシング技術を用いた情報収集・精密管理

環境条件に合わせた苗木の販売、
高収益農業の実現

■ イノベーション促進（社会）



■ 持続可能な近代的エネルギーの提供（環境）

■ 市街地機能の維持
災害時に電力会社からのエネルギー供給が停止しても最低限の市街地機能を維持する。



■ エネルギーをつくる
再生エネルギー等、地域内でエネルギーを生産することでエネルギー輸入量を削減し地域内で資金を循環する。



SDGs未来都市

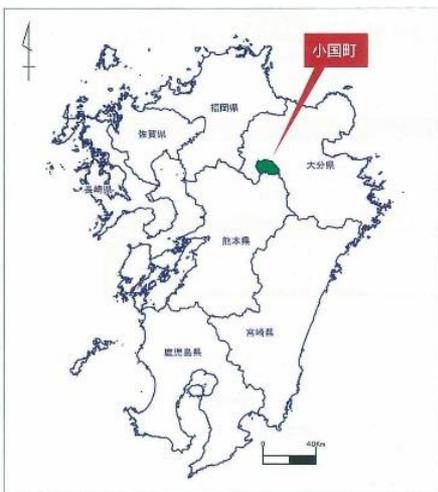
Oguni Town

熊本県 小国町

- ▶平成25年度 環境モデル都市選定
- ▶平成30年度 SDGs未来都市選定



**地域資源（地熱と森林）を活かした循環型の社会と産業を創出し
将来にわたって持続可能な町**



人口：約7,000人
面積：137km²
森林率：約80%



▶地熱発電
(民間によるフラッシュ発電)



▶森林資源の活用



▶研究と交流の拠点
(自治体SDGsモデル事業)



▶▶SDGs学習の成果



▶SDGs解説書を作成



▶全中学生がSDGsを学習

Figure

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS																
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

Goal 11

住み続けられるまちづくりを

11

（国際連合出版センターホームページによる）
（注）この図はイメージであり、中の文字を読む必要はありません。

1 ①、②に入れるのに最も適当なものを、次のア〜カからそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。
ア Could you tell me your ideas? イ I don't think so. ウ No, we can't.
エ Which goal did you choose? オ Do you need more time? カ That's right.

2 〇に、会話が成り立つような英語を書きなさい。

3 本文の内容に合っているものを、次のア〜エから一つ選び、記号で答えなさい。
ア 彩花は、園についてのミス先生に質問をした。
イ 里美は、学校の近くの川を掃除する例を挙げた。
ウ 涼太は、子育てで忙しい家族の代わりに買い物をしたいと言った。
エ 大志は、駅周辺に花を置き、訪問者を花で歓迎したいと考えた。

4 次の英文は、大志が書いた日記の一部である。大志とクラスメートやミス先生との会話の内容をふまえて、文中の A、 B に当てはまる英語を、それぞれ4語で書きなさい。

大志が書いた日記の一部

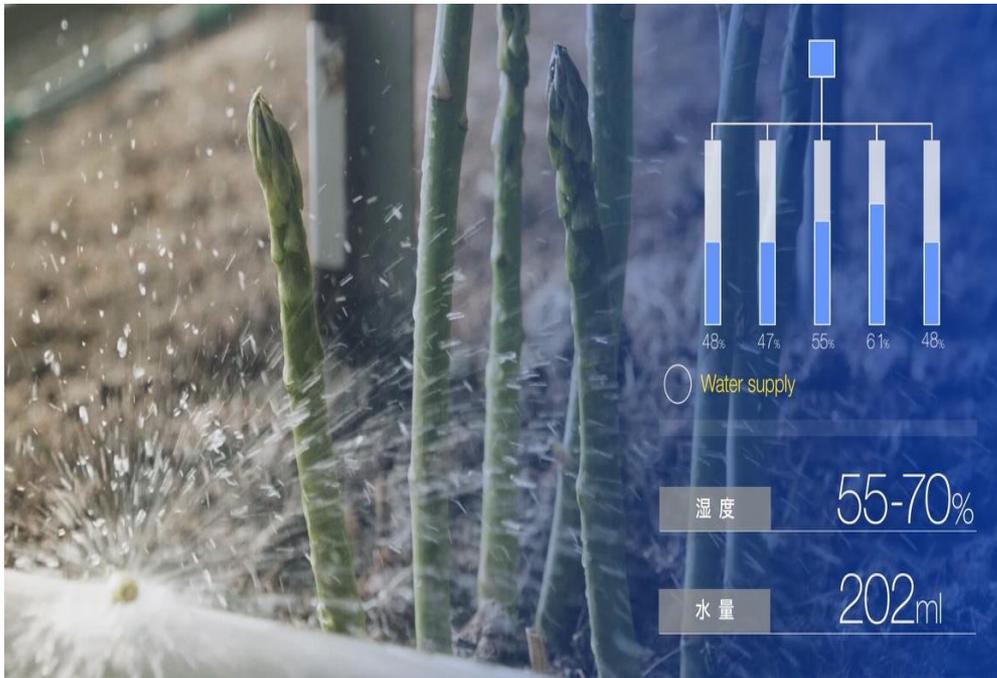
Today, we learned about seventeen goals to change the world and talked about Goal 11. We got a lot of ideas to A. We have learned that we have to think about something we can do. We may change the world if we B for our town.

▶熊本県公立高校入試に出題 ⇒ 学習の成果

SDGs未来都市

Iki City, Nagasaki

長崎県 壱岐市



※2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール



取組ビジョン・計画

- ◆ 交流・対話の島の歴史を未来へ繋ぐ
- ◆ 人口減少や少子高齢化などの社会的課題の解決
- ◆ 基幹産業である1次産業を中心とした経済発展

特徴的な取組の概要

- ◆ 住民の対話による市民協働のまちづくり
- ◆ アスパラのスマート栽培
 - センサーによる生育管理・自動灌水
 - ドローンによる自動配送

SDGs未来都市
環境未来都市
環境モデル都市

City of Kitakyushu

福岡県 北九州市

「北九州SDGsクラブ」によるSDGs達成に向けた取り組み

SDGsクラブ会員 プロジェクトチーム

知見の共有及び取組の具体化に向けたプロジェクトの実行



SDGsの「見える化」

取組みの「具体化」

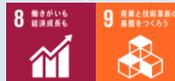
プロジェクトチームの例

防災意識の向上プロジェクト



防災意識の向上のため、高校・企業等が中心となり、防災教育や活動を実施

地方創生人材育成プロジェクト



企業のノウハウを活用し、市への「政策提言の策定」を通じた若い世代の人材育成を実施

子ども食堂プロジェクト



子ども食堂の開設支援、食材調達、学習支援などネットワークづくりを実施

循環社会実証プロジェクト



使用済みの紙の再生・利用や新たな価値の付与を地域で行う実証の実施。

SDGs未来都市

Maniwa city, Okayama

岡山県 真庭市



「真庭SDGs円卓会議」とは、SDGsという価値観をみんなが共有して、市民運動として推進していくための組織です。

SDGs未来都市

Okayama City, Okayama

岡山県 岡山市

SDGsの
特徴的な取組

ESDの推進によりSDGsの達成に貢献

4 質の高い教育を
みんなに



～ 岡山ESDプロジェクトの特徴(岡山モデル) ～

- (1) 公民館や学校などの地域を拠点とした取組
- (2) 多様な組織が参加する岡山ESD推進協議会のネットワーク
- (3) 地域拠点にコーディネーターを配置



社会課題の解決に向けた学びと実践、人材の育成



ESDはSDGsの全ての目標達成の鍵。ESDを一層推進していくことにより、地域特性を踏まえたSDGsの達成に取り組み、持続可能なまちづくりを推進していく。

SDGs
推進事業

豊富な医療資源を活かした**健康づくりの取組**



AIを活用した健康見える化事業



SIB健康ポイント事業「**おかやまケンコー大作戦**」



SIBを活用した生涯活躍就労支援事業



SDGs
普及啓発

市民への**啓発イベント、学び合うフォーラムの開催**



SDGsフォーラムin岡山 ～2030年のありたい姿とアクション～



未来わくわくフェスタ ～お買い物からはじまるSDGs～ など



SDGs未来都市
環境モデル都市

Toyota City

愛知県 豊田市

SDGs未来都市
環境モデル都市

Toyota City
愛知県 豊田市



とよた
SDGs
パートナー

Since 27 Nov.2019



基本条件／ 豊田市及び多様なステークホルダーとの**連携、共働**
実施条件／

- ① **目指すゴール**（主要ゴール、関連ゴール）
- ② ゴール達成、豊田市の地域課題の解決に資する取組・行動
- ③ 取組や活動に付随した**「モノ」「コト」「ヒト」の提供**



SDGs未来都市

Hamamatsu City, Shizuoka

静岡県 浜松市



取組のポイント

- 総合計画で掲げた都市の将来像の実現に向け、バックカasting方式により、経済・社会・環境の調和等を基調としたSDGsの理念に通ずる取組を推進
- 浜松市SDGs推進プラットフォームを設立し、キックオフイベントとなるシンポジウムを開催
- 自発的な自治体レビューとして「浜松市持続可能な開発目標（SDGs）レポート 2019」を作成し、国連「ハイレベル政治フォーラム」において浜松市の取組を発表

SDGs未来都市
環境未来都市
環境モデル都市

Toyama City

富山県 富山市

SDGs未来都市
環境未来都市
環境モデル都市

Toyama City
富山県 富山市

都市の理想を、富山から。



SDGs 未来都市
TOYAMA

【富山市SDGs未来都市計画】

これまでの環境モデル都市、環境未来都市の取組を経済価値、社会価値、環境価値の統合による都市創造のスパイラルアップの視点から発展させ、SDGs未来都市「コンパクトシティ戦略による持続可能な付加価値創造都市」の実現を目指します。

【取組方針】

- ・公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりの実現
- ・ヘルシー&交流シティの形成と質の高いライフワークスタイルの確立
- ・セーフ&環境スマートシティの実現と地域エネルギー・マネジメントの確立
- ・産業活力の向上による技術・社会イノベーションの創造
- ・多様なステークホルダーとの連携による都市ブランド力の向上



【富山市の目指す都市創造のスパイラルアップ】

SDGs未来都市

Kanagawa Prefectural Government

神奈川県



「いのち輝く神奈川」と軌を一

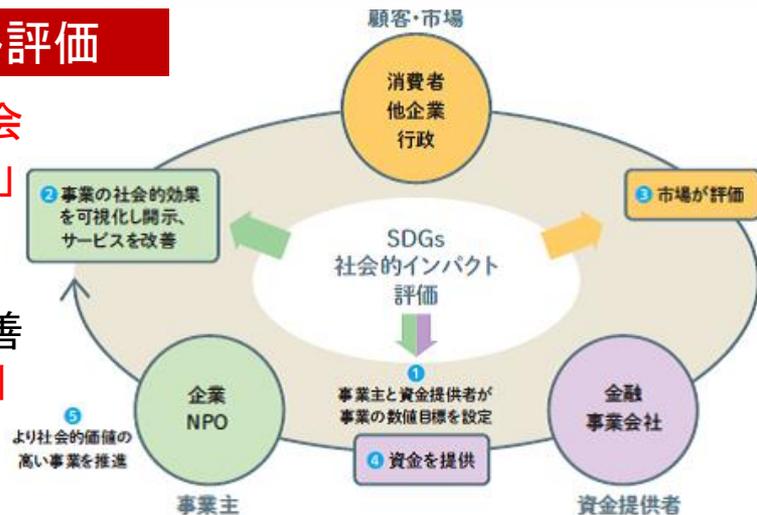


SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs社会的インパクト評価

- ・SDGsに資する事業の**社会的インパクトを「見える化」**するモデルの策定
- ・SDGsに資する事業の改善を促進し、**投融資を誘引**



プラスチックゼロ宣言

かながわプラスチック ゼロ宣言



神奈川発の国内外への発信



16 Jul. 2019

LOCAL 2030
LOCALIZING THE SDGS

30 Jan. 2019

「SDGs日本モデル」宣言を発表
現在、全国157自治体が賛同
(11.30現在)



29 Aug. 2019

SDGsのローカライゼーションの推進や
SDGsインパクト、アクションフェスティバルの
開催等で連携

SDGs未来都市
環境未来都市
環境モデル都市

Shimokawa Town

北海道 下川町



2030年における下川町のありたい姿

下川版SDGs

2018.4.23

Point 1

地域ステークホルダー
が中心となり策定

Point 2

町の総合計画(最上位計画)の
「将来像」に位置付け

Point 3

指標(しもかわSDGs
インディケーター)を設定
し進捗管理

Point 4

実現に向け町内外の多様な人々
が連携して取組



SDGs未来都市

Hokkaido
北海道

体験型セミナー（2019.7月～9月）
全道8カ所



交流セミナー（2019.11月～2020.2月）
全道6カ所



【北海道の今年度の主な取組：全道14カ所でSDGs普及のためのセミナーを開催】

道では、知事を本部長とする「北海道SDGs推進本部」のもと、各種計画にSDGsを反映し、SDGsの主流化を進めているほか、SDGsについて詳しく知らない方々を対象にカードゲームやワークショップを行う体験型セミナーやSDGsに取り組む方々に交流・意見交換していただく交流セミナーを道内各地で開催し、SDGsの普及に努めています。

環境モデル都市

Amagasaki City

兵庫県 尼崎市

まちづくり
ハード事業

尼崎版スマートハウス普及促進事業

ZEHと尼崎版スマートハウス
(nearlyZEH相当)の普及を
目指す。

理想
※補助額も増

機器を組み合わせ
同時導入した場合、
スマートハウス加算
により増額。



- 断熱
- 高効率設備・システム
- 創エネ
- 創エネ
- 蓄エネ
- 整エネ
- 創エネ
- 蓄エネ
- 蓄エネ
- 整エネ

蓄エネ機器の導入を
必須にすることで、
電力の自家消費に誘導

尼崎市の考える環境に優しい住宅が、市民にとって分かりやすくなる制度設計

地域通貨を活用したクールチョイスの推進事業

冷蔵庫買い替え

3,000ポイント



※省エネ性能「☆☆5段階」へ更新

のりかエル



エコ通キリン



バス定期券新規購入



3,000ポイント

※阪神バス株式会社が発行する尼崎特約6か月定期券

空調買い替え

2,500ポイント



※省エネ性能「☆☆5段階」へ更新

さわやかバ



環境学習ポイント



環境学習参加



20ポイント

※尼崎市が指定する事業・イベント等



- CO₂削減量に応じてポイント付与
- 市内加盟店で利用でき、地域経済を活性化
- クールチョイスの行動変容促進

環境モデル都市

Nagano-Prefecture Iida-City
長野県 飯田市

環境モデル都市

Nagano-Prefecture Iida-City 長野県 飯田市

2050年

地域全体から排出される温室効果ガスを2005年対比で**70%削減**

2030年

家庭部門からの温室効果ガスを2005年対比で**40~50%削減**

2011年 ◆環境首都コンテスト「**明日の環境首都**」受賞

2010年 ◆環境首都コンテスト全国2位

2009年 ◆環境首都コンテスト全国3位

環境文化都市宣言

2007年

2004年~ 平成のまほろば事業

地域ぐるみ環境ISO研究会発足

21'いいだ環境プランの策定

1996年

2009年

環境モデル都市に選定

太陽光市民共同発電事業開始



2013年 地域環境権条例制定

地域ぐるみ環境ISO研究会20周年



2019年

地域主導の再エネ活用事業の創出



ラウンドアバウトの導入



LED防犯灯の開発・設置



公民協働事業認定

飯田市との公民協働事業化

市長

事業認証による環境格付け

事業の信用補完

基金の無利子貸付

答申

申請

事業化への助言

再エネ導入支援審査会

融資

投資

金融機関
投資家



〈事業主体〉
地域・地縁団体
(まちづくり委員会等)



地域の
課題解決！



事業により、地域に生じるメリットを住民が主体的に活用



協力関係

〈事業支援・協働〉
企業の
公益的な活動



公益的環境
活動による
企業価値向上

